

] î0 5r •
KAWASAKI STEEL GIHO
Vol.12 (1980) No.2

,0ç N q Ê h 1800t/h " á ß î² î _ X 8 Z

Features of 1800 t/h Unloader

大橋卓朗*
Takuro Ohashi

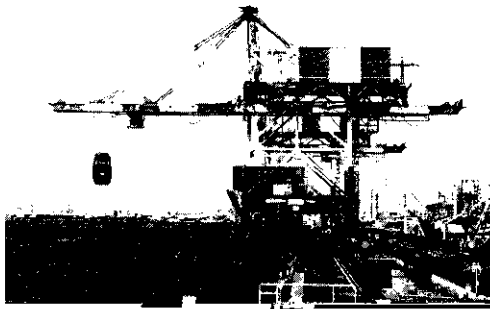
小西晴彦**
Haruhiko Konishi

品川英一***
Eiichi Shinagawa

池田信****
Makoto Ikeda

Synopsis:

The world-built "H" hutch of China Works of Kawasaki Steel Corp. has a capacity of 1800 t/h.

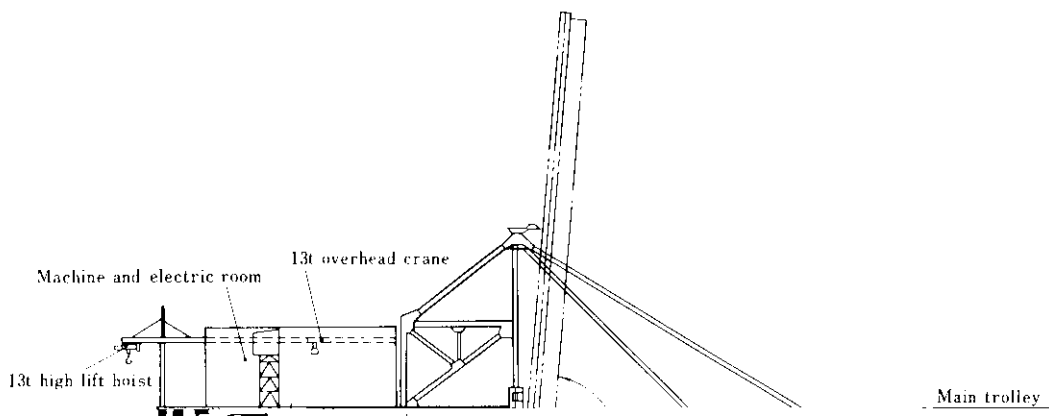


石炭（見掛比重 0.8）
 公称能力：1800t/h（焼結鉱，石炭共）
 154000D.W.T.の専用船を基準
 吊上荷重：60t
 クラブバケット：30t, 37.5m³（石炭時）
 （焼結鉱，石炭兼用バケット）
 スパン：22m
 ホイールベース：16.5m
 グラブバケット横行距離
 アウトリーチ：37m

Photo.1 General view

型式：ダブルガーダ型ロープトロリー式アンローダー

バックリーチ：10m
 揚程：42.5m（走行レール面上 25m，走行レール
 下面下 17.5m）
 走行レール形式：73t σ レール（900mm 間隔複式）



佐野田正邦、...、六角形番 12、1、1、1

0-1

佐野田正邦、...、六角形番 12、1、1、1

0-1

六角形番の連打

0-1

3-6 ブルドーザー仮置台

岸壁の構造がシーバース型となっているため、荷役作業におけるブルドーザー投入および引上げ時の作業干渉を無くす目的でコンベヤ後部にブル

3-7-3 走行装置

脚下部4コーナーに走行装置が配置され、1コーナー12輪、計48輪の車輪を有し、電動機は各コーナーに4台、計16台設置されている。

3-7 機械装置

3-7-1 巻上、開閉装置および横行装置

巻上と開閉装置は、空気昇リモーター方式で相

この設備はベルト機長が短いので、機内コンベヤ設備全体を移動させ原料を払出すシャトル構造にしており、後背地の都合により、地上にある2本のコンベヤを選択して払出させる。安全装置として、アンローダーおよび地上コンベヤと駆動

報処理用設定盤を搭載して、アンローダーを含めたヤード全体の情報一元管理を図り、稼動状況、

により監視し、ホッパー内の量が設定以下になると自動的に払出しを減量、停止する。なお、このホッパーレベル制御は、ホッパーからの自動払出

3-9 環境対策

しシステム構成の一部である。

Fig. 4 に自動払出しシステムの構成を示す。

を設けた。

(1) ホッパー上に高さ 5m の防風壁を設置した、

動運転はフィーダの振幅制御、フィーダトラフ角度制御およびホッパーゲート開閉制御をすべて個

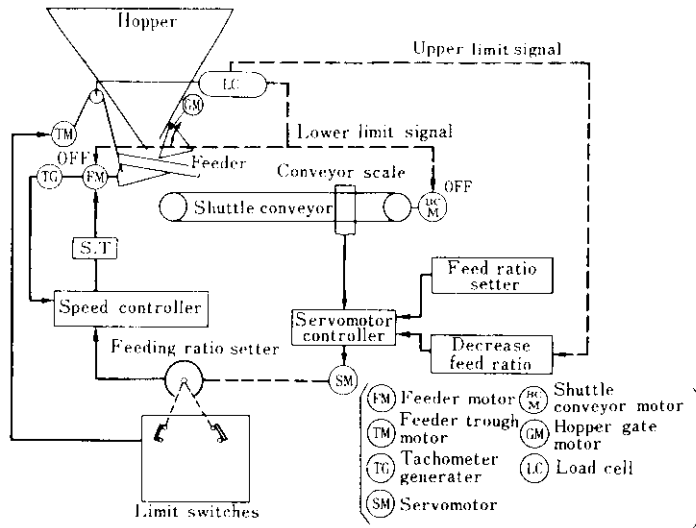


Fig.4 Automatic loading control system

より組立精度等の品質管理が十分に行えるので稼